

級P
最大級
世界
H

金属技研、姫路工場に導入

来春、初の海外拠点

金属技研（東京都中野区、長谷川数彦社長、03・5365・3050）は、09年末に予定している世界最大級のHIP（ギガHIP）熱間静水圧プレス）の導入拠点を姫路工場（兵庫県姫路市）に決めた。同装置は2010年までに約60億円を投じる同社の投資計画の目玉で、建物規模や地盤特性などを考慮した結果、主力拠点の姫路が

最適と判断した。装置の導入によって、海外からの加工需要が見込まれることから、来春をめどに欧州に初の営業拠点を開設する。

HIP装置は主に金属粉末の焼結や金属同士の接合に用いられる。国内では、高機能の小型部品の加工が主な用途だったが、部材の大型化に伴い、処理室直径1000ミリ以上の大型の装置需

要が見込まれる。とりわけ欧米では、航空機部品の用鑄造品の欠陥除去などに利用されることも多く、大型装置も数多く導入されているという。

同社は今春、米国で開催された国際会議で直径2000ミリ、高さ4200ミリの世界最大規模のギガHIP装置の投資計画を公表したところ、予想を上回る反響があった。

なかでも北欧を中心に欧州企業からの引き合いが活発なことから、今後の受注拡大につながるため、欧州拠点の開設を決めた。新規受注の獲得および情報収集を急ぎ、海外市場進出の橋頭堡とする。

同社は航空機や発電用タービンなど特殊な処理を必要とする金属部品の製造を主力事業とする。